

栃木県総合教育センターだより

学びの杜通信

第105号 令和7(2025)年3月3日発行



栃木県教育研究発表大会実施報告



「教育DX部会」



「学校と大学の協働的実践研究部会」



「人権教育部会」

令和6(2024)年度栃木県教育研究発表大会〔1月24日(金)・25日(土)実施〕を、オンライン(Zoom配信)で開催し、延べ1,226名の皆様に御参加いただきました。遠方の方や県外の方からも多くの参加がありました。御発表、御参加いただいた皆様及び御協力いただいた関係者の皆様、ありがとうございました。

大会は二日間に渡って12の部会と教育講話が開催され、県内各教育機関における学校教育及び生涯学習に関する実践研究の状況や成果等が発表されました。発表を踏まえた専門家(宇都宮大学及び県外大学の先生等)からの助言等、どの部会も充実した有意義な時間となりました。

また、「教育講話」では、文部科学省初等中等教育局主任視学官 田村 学 氏から『「主体的・対話的で深い学び」を改めて考える～「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実～』をテーマに、御講話をいただきました。多くの実践事例が紹介され、目指す資質・能力の育成に向けて、子どもたちの「主体的・対話的で深い学び」の実現や、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に必要な教師の指導性について、理解を深めることができました。



「田村学主任視学官による教育講話」



2月8日(土)特別企画「メタバース体験」

また、特別企画「メタバース体験」〔2月8日(土)実施〕では、「校内研修どうつくる?」「探究について探究しよう」「プログラミングのひろば」の三つのテーマを設定し、各メタバース空間で、参加者の皆様と楽しく深く意見交換しました。メタバース空間内でアバターを操作しながら、資料を閲覧したり、集合して意見交換したりと、通常とは違った空間での学びを得る機会となりました。

参加した方々からの声をご紹介します

【「教育DX部会」の参加者】

教育DXに関わり、学習から校務まで具体的な取組を知ることができ、とても参考になりました。今後、校務での生成AIの活用等も勉強していきたいと改めて感じました。

【問合せ先】栃木県教育研究発表大会実行委員会事務局(研究調査部 TEL 028-665-7204)

第78回栃木県理科研究展覧会並びに発表会

本展覧会並びに発表会は、「児童生徒の科学する心を育成し、本県理科教育の振興を図る」ことを目的に、昭和22(1947)年から続いている、長い歴史と伝統を誇る科学コンクールです。今回で78回目となる本展覧会並びに発表会を開催することができたことは、関係各位の御尽力に加え、御指導に当たられてきた先生方の御理解、御協力の賜であり深く感謝いたします。

今年度の中央展覧会審査会は、2月10日(月)に栃木県総合教育センターで行われ、40名以上の審査委員の方々により厳正なる審査をしていただきました。出品総数2,659点の中から84点が中央展覧会審査会に進み、そのうち26点が最優秀賞に輝きました。



中央発表会の様子(小学校)



中央発表会の様子(中学校)



審査委員会の様子

中央発表会審査会は、2月20日(木)に栃木県総合教育センターで行われました。発表総数53点の中から8点が中央発表会審査会に進み、そのうち6点が最優秀賞に輝きました。

同日、中央展覧会と中央発表会で選ばれた最優秀賞の受賞者に対し、表彰式が同所で行われました。最優秀賞の作品は、身近な生活の中で生じた疑問を基にテーマを設定したものや、長期間にわたり丁寧に観察してまとめたもの、詳細な記録を蓄積し考察したものなど、どれも素晴らしい内容であり、工夫してまとめられました。



表彰式の様子

来年度も展覧会や発表会に多数の作品が出品、発表されますことを願っています。なお、中央展覧会並びに中央発表会の審査結果については、下記栃木県総合教育センターWebサイトで公開しています。

<https://www.tochigi-edu.ed.jp/center/tenrankai/r06-rikakenkyu/>

【問合せ先】研修部 (TEL 028-665-7202)



次年度も先生方の研修会等をサポートします

先生方にとってよりよい研修会等となるように、センターの社会教育主事や指導主事が講師として学校に伺います。以下の表を御確認の上、各担当部へ直接電話でお申込みください。日時、研修内容など御要望に応じられるよう、出来る限り努めて参ります。テーマに無い研修に関しても承れることもありますので、まずはぜひ御相談ください。

社会教育に関する研修支援

生涯学習部 TEL 028-665-7206

※ 下記テーマにない生涯学習・社会教育に関する内容についても対応可能です。お気軽に御相談ください。

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	人権学習	60～120分	参加体験型の学習を通して、人権問題への理解を深めるとともに、人権を尊重できる意識を高めます。保護者会等での実施も可能です。
2	学校・家庭・地域の連携	60～120分	学校運営協議会等で行われる、教職員と地域の方や保護者を交えた「熟議」の進め方を、模擬体験を通して学びます。
3	保護者対象の学習会	60～120分	保護者会(学年・学級懇談会)・PTA(活動)等における保護者同士の話し合い活動を充実するため、親学習プログラムの活用方法を中心に、ファシリテーター(進行役)の役割や進め方について学びます。

学習指導等に関する研修支援

研究調査部 TEL 028-665-7204

※ 実施目安時間は60～120分程度で相談に応じます。下記テーマにない研修に関しても、お気軽に御相談ください。

No.	テーマ	対象	内容
1	各教科等の授業研究	小・中・高	学校課題の解決に向けて実施する各教科等の授業研究会をサポートします。授業参観や授業研究会を通して、授業づくりのポイントや授業改善につながる視点を先生方と一緒に検討していきます。指導案検討の段階から一緒に取り組むことも可能です。
2	各教科等における探究的な学習を取り入れた指導の充実	高	各教科・科目等において「探究的な学習」を効果的に取り入れた授業デザインや授業展開の方法について、演習を通して理解を深めます。また、ルーブリックの作成と活用方法についても学びます。
3	情報教育・ICT活用	小・中・高	情報モラル教育やプログラミング教育、その他、各種クラウドサービスの効果的な活用やショートカットキーの活用、業務の効率化などについて、学校の実態に合わせて学びます。
4	児童生徒の発達を支える指導	小・中・高	すべての児童生徒を対象とした発達支持的生徒指導に着目し、生徒指導と学習指導を一体的に推進する基本的な考え方や手立てについて学びます。学級(HR)経営や特別活動、本県の学業指導との関連なども、ニーズに合わせて学びます。
5	マネジメント	小・中・高	組織マネジメントやカリキュラム・マネジメントの考え方を踏まえ、各学校の教育目標、ミッション、ポリシー等の実現に向け、教育活動の評価と改善策などを考えます。
6	危機管理	小・中	学校における具体的な危機の場面を設定し、リスクの洗い出し、クロスロード、シミュレーションを通して、組織全体の危機管理意識を高めます。

教育相談・特別支援教育に関する研修支援

教育相談部 TEL 028-665-7210
7211

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	いじめの理解と対応	50～90分	いじめ防止対策推進法に基づくいじめの認知、いじめの早期発見、早期対応、いじめの未然防止、組織的な対応等について考えます。
2	不登校の理解と対応	50～90分	不登校の考え方、不登校対策、児童生徒への支援、保護者との連携、組織的な対応等について考えます。
3	通常の学級における特別支援教育	50～90分	通常の学級における指導・支援の基本的な考え方や特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な指導・支援、合理的配慮の提供等について学びます。
4	Q-Uの活用	50～120分	Q-Uの各シートの見方と活用のポイントについて学びます。 (※ Q-Uの結果を用いた事例検討等を実施することも可能です。)
5	自立活動の指導の在り方	50～90分	自立活動の指導の基本的な考え方、個々の児童生徒の実態把握から適切な指導目標や具体的な指導内容を設定するためのポイント等について考えます。 (※ 自立活動に関する授業研究会に参加することも可能です。)
6	事例検討	60～90分	児童生徒への指導・支援の方針や具体策を考えます。
7	その他		上記の内容以外にも、カウンセリングマインドやアサーショントレーニング等、学校の要望に応じて実施することも可能です。

幼児教育と小学校教育との接続に関する研修支援

幼児教育部 TEL 028-665-7215

No.	テーマ	目安時間	主な内容
1	架け橋期の教育の充実	60～90分	スタートカリキュラムや生活科の充実のために大切にしたいこと等を学び、架け橋期(5歳児から1年生の2年間)の教育の在り方について考えます。
2	子どもの育ちと学びをつなぐために	60～90分	幼児期の指導要録や口頭による情報交換の趣旨と内容を踏まえ、小学校において一人一人が自分らしさを発揮しながら学ぶための指導の在り方について考えます。

TEC Link(研修受講者用 Wi-Fi)検証結果

学びの杜通信第 103 号でお知らせしたとおり、当センターの機器更新に伴い、来所者（研修受講者、生涯学習施設利用者）が利用できる Wi-Fi 環境「TEC Link (Tochigi Education Center Link)」を整備しました。来所者のより効果的な研修等の実現のために、受講者の皆様には授業用タブレット端末等を持参した検証作業に御協力をいただいていたところですが、その結果について御報告いたします。

持込端末のインターネット等への接続状況

- 県立学校：授業用タブレット端末（1人1台端末）でインターネット等接続可
- 小中学校：多くの自治体が管理する端末においてインターネット等接続可
- 個人端末：インターネット等接続可（スマートフォン等含む）

今回の検証では、自治体ごとに端末の接続環境や運用方針等に特色があることが確認されました。多くの方は、研修時の端末利用が可能でしたが、端末の持ち出しや校外におけるインターネット接続に関しては、それぞれの自治体の運用方針で規定されているケースもありました。

今後は、自治体ごとの運用方針を理解し、研修での活用がスムーズに進むよう、接続環境やサポート体制の充実を目指すとともに、研修当日の案内や事前準備をよりわかりやすく示し、皆様が安心して TEC Link を活用できるよう努めていく予定です。

今後も、より良い学びの場を提供できるよう取り組んで参りますので、引き続き御協力をお願いいたします。検証に御協力いただいた皆様に、感謝申し上げます。



栃木県総合教育センター

当センターへの持込端末の利用に向けて

所内に研修受講者用Wi-Fi※完備！

※名称：TEC Link(Tochigi Education Center Link)

どこでもインターネットに接続可



●タブレット端末を持参して受講できる！

- ・端末を活用して研修効果アップ
- ・端末活用による学びの可能性を広げる



●資料をデジタル化して利用が便利に！

- ・データをダウンロードして共有
- ・互いの資料を閲覧できる（ペーパーレス化も進む）



プレゼンテーション
思考ツール
協働学習 深い学び

【端末利用に関するお願い】

- ・「端末の持ち込み」や「メールの利用」については、所管する教育委員会の定めるルール等に従ってください。
- ・持ち込み端末からインターネットに接続する際のルール等については、栃木県総合教育センターWebサイトを御確認ください。



受講者の皆様にとって、より効果的な研修の実現を目指します！

【問合せ先】 研究調査部 (TEL 028-665-7204)